

News Release

報道関係 各位

2025年5月25日

【イベント開催報告】

青年技術士支援委員会 技術士資質を高めよう！リーダーシップ×フォロワーシップの理解と実践 対面開催にて大盛況で終了！

公益社団法人日本技術士会 青年技術士支援委員会（委員長：村上玲）は、5月24日（土）に機械振興会館（東京都港区芝公園3丁目5-8）にて、「技術士資質を高めよう！リーダーシップ×フォロワーシップの理解と実践」を開催しました。本イベントは、講義・グループワークを通じてリーダーシップとフォロワーシップについて学び、現場の組織運営に活かすことを目的に開催しました。36名の45歳以下の技術者が集まり、大盛況のうちに終了しました。

イベント詳細

本イベントはリーダーシップ、フォロワーシップ講義、グループワークの3つのプログラムを実施しました。

リーダーシップ講義では、組織の成長や問題解決に必要なリーダーシップの理解を目的とし、古代から現代にかけての理論の変遷をたどりしました。特に近年は、ビジネスの複雑化や働き方の変化を背景に、個人の統率力に頼るのではなく、信頼をもとにチームの力を引き出すスタイルが重視されていることを説明しました。さらに、クルト・レヴィンの3類型やダニエル・ゴールマンの6類型を取り上げ、参加者が自身の目指したいリーダー像を考えるミニワークを行いました。

フォロワーシップ講義では、メンバーとして組織の成長や問題解決に貢献するために必要な姿勢と行動の理解を深めました。まず、フォロワーシップを「批判的思考」と「積極的関与」の2軸で分類した4+1の型を紹介し、各型の特徴や接し方、組織への影響について解説しました。続いて、「リーダーへの共感」「自発的行動」「周囲を巻き込む力」が重要であることを説明し、仮想事例を用いたミニワークを通じて実感を深めました。

グループワークでは、講義内容の実践を目的に、技術系企業の若手技術者育成委員会を模したチームで、「DX・AI活用による事業競争力強化」をテーマに企画書を作成しました。各メンバーの特性を把握したうえでリーダーを選出し、リーダー・フォロワーとしての役割が果たされているかを随時確認しながら進行了しました。最後に、作成した企画書と、リーダー・フォロワーとしての行動の振り返りシートを発表しました。

参加者からは「リーダーの立ち位置と解像度が高まった」、「フォロワーシップの重要性と環境による特性の変化を実体験することができた」等の好評の声が寄せられました。



講義の様子



グループワークの様子



グループワーク発表の様子

【本イベントに関するお問い合わせ】

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会 委員長 村上 玲

委員会内広報グループ：山本直樹 E-mail: pr@peyec.jp ※取材の際は左記までお問い合わせください。

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会とは？

公益社団法人 日本技術士会は技術士制度の普及・啓発に取り組んでいる唯一の全国組織です。当会は、日本技術士会内に設けられた委員会組織で、45歳以下の技術士、技術士補、修習技術者から構成され、若手技術士に向けた研鑽事業の企画・実施・支援をしています。